

2017 年度 つづきナビ倶楽部 散策ガイド

⑨ 大井から品川宿を散策する

◆催行日: 2017年9 月20 日(水曜日)

◆集合時間と場所: 午前9時30分(集合時間)

JR線・大井町駅西口または東急大井町線・大井町駅の改札口を出たところ。

◆散策コース: 大井町駅→ゼームス坂→高村智恵子の碑→海蔵寺→願行寺→妙蓮寺→海徳寺→荏原神社(トイレ)→品川橋→聖蹟公園→品川神社(トイレ)→旧東海道→法禅寺→問答河岸→魚屋の前にて解散→京急北品川駅

大井町駅を出て左の大井町銀座商店街通りを進みます。暫く行き左手角の「Y! mobil」を左折し「すずらん通り」に入ります。

すずらん通りの左右は飲食店が並んでいますが、左手の一角は、「東小路飲食街」と言います。戦後の闇市を起源とする古い飲食店街がそのまま残り現在に至っています。戦後のどさくさ建築のひとつでもあります。食べ物 100 円から飲み物 180 円からととにかく安い。中に立ち入ったら酒飲みには誘惑が多い場所、なかなか出られないのは大森の地獄谷と同じです。その飲食街の突き当りがゼームス坂通りです。左に曲がりエンジュ並木を下ってゆきます。



エンジュは、中国では出世の木として大切にされています。

歩道に咲くキバナコスモスに癒されながら下ってゆき、信号を左折します。左手に「ゼームス邸跡地について」を説明した石碑があります。読み終わって右斜めを見ると大きな桜の木の下に高村智恵子「レモンの碑」が建っています。そして今来た道に戻りゼームス通りに出て左折します。大井町を出た商店街も「銀座」でしたが、ここも「品川銀座」でバス停もあり街灯には提灯もあります。因みに全国で銀座と名が付く商店街は 345 件あるそうです。また、地名「銀座」の発祥の地は、銀座 2 丁目です。品川銀座周辺案内板を見ると至るところお寺だらけです。お寺が22、神社と稲荷が5で合計27を数えました。案内板を後にして進みます。「くすりのトラヤ」の前の横断歩道を渡ります。暫くすると「葬祭聖幸社」の看板が見えます。手前の右側に「馬蹄観世音」がひっそりとあります。その前を歩いていくと突然30階位の高層マンションが現れます。そして右に曲がって進むと右手に「海蔵寺」の山門に出会います。今日初めてののお寺訪問です。

最初に眼に止まるのが大きな松の木。右手に「宝蔵稲荷」、その横の細い道を入れて行くと「無縁仏供養塔」に出会います。



正面、右、左に合計60強の仏像が設置されています。帰りの山門に向かう途中にフウセンカズラがあります。果実の中にある種子は球状で大粒、なめらかな黒でハート形の白い部分があります。「海蔵寺」を出て右に進み第一京浜の広い通りの信号を渡って、更に進むと右手に「願行寺」があります。山門を入ると正面に本堂が横向きにあります。左手に「法界堂」、その先に「究学」の碑(先々代の住職が宗教哲学を極めたことを祝って壇家たちが寄贈した物)があり、その左手の地蔵堂に「しばり地蔵」が安置されています。



「願行寺」を出て道を渡ると直ぐ左手に「妙蓮寺」、その先には「蓮長寺」、その斜向かいに「心海寺」がありますが、やり過ぎて行きます。アサヒ興洋の看板が見える交差点を左折、途中に今を盛りと酔芙蓉が咲いています。朝は白ですが、通る時間はピンクに染まっていました。そして「本覚寺」を左手に進み、突き当りを左に曲がると「海徳寺」の山門があります。山門を入ると



左手に軍艦千歳殉難者之碑と黒船襲来時に撃ったのではないかとと思われる大砲、また正面の本堂の欄干にある龍は素晴らしい彫り物ですが、その上にある裸の像は、ホームページで「力士像」と紹介され名を知られています。住職の奥方に聞きますと実は違いました、「天邪鬼」だそうです。もっとも有名なのが、本堂の左の松の横にありますバットとボールを持った「ホームラン地蔵」です。また、右には「釈迦生誕像」があります。



海徳寺を出て左に進み目黒川に架かる赤い鎮守橋を渡ると「荏原神社」です。鳥居を潜ると右側に「明治天皇と荏原神社 内侍所御奉安所史跡」があり、右前方には「神楽殿」、正面には本殿があり、途中に「恵比寿像」があります。



本殿の前の狛犬は、大変珍しく可愛い2匹の子供を抱えています。子孫繁栄を願ってのことだそうです。また屋根を見ると左右から龍が顔を出しています。1つは本尊が龍神様であることが判る

ように、もう一つは龍の口から雨水を落し水瓶に溜めており、水を大切にしましょうというメッセージが込められています。「荏原神社」を出て左に目黒川沿いを歩いてゆくと右に「品川橋」があります。左に「東海道品川宿」が表示されています。いよいよ旧東海道です。



旧東海道は平成に相応しい新しい商店街に変貌し、歴史を感じさせるものは見当たりません。国道357号線の信号を渡り右に進むと左側に「品川宿本陣跡」がありますが、入り口にひっそりと小さな看板があるだけです。寧ろ、奥まった大きな木に隠されて真ん中に御聖跡、右に聖徳の碑、聖蹟公園由来の碑。左に石井鉄太郎氏胸像と夜明けの像が並んだ聖蹟公園が主役です。公園を出て左に戻ると北馬場参道通り商店街に入ります。



商店街を進むと正面に大きな双龍鳥居が現れます。北の天主様として人々に親しまれていた「品川神社」です。双龍鳥居の右に降り龍、左に昇龍の見事な彫刻が施されています。右側の品川神社名が刻まれた石碑の下を良く見ると亀の形をしています。

階段を上がり途中にある「富士塚」(品川富士)の入り口を登ります。富士塚の高さは約15mで、5合目に着くと10合目を目指すもう一つの登山道があります。狭くて急ですので必ず鎖を持ってください。頂上からは、品川宿が一望でき、レインボーブリッジが微かに見えますが、周りを囲むものは何もありません。帰りは反対側にある下山道の階段を降りますが、急でしかも不揃いの石段です。十分に注意してください。

正面に本堂があり、左手には「浅間神社」、右手に「包丁塚」があります。その本堂と阿那稻荷神社の間に狭い道があります。道なりに進むと奥まったところに「板垣死すとも 自由は死せず」の碑と板垣退助夫妻の墓があります。参る人は誰もいない、まさに「自由は死んでしまった」を感じさせます。品川神社を出て国道15号を渡り再び北馬場参道通り商店街の門を潜り、虚空蔵菩薩霊場の汚れたカンバンを左に曲がります。大震災にも壊れなかった煉瓦の塀の横を通り抜けると「養願寺」に出ます。そこを右に曲がって突き当たった所が「一心寺」です。2度目の旧東海道(北品川商店街)に歩みを進めると左手やや上にコインパーキングの看板見えます。そこを左に曲がると「法禅寺」です。ここは流民叢塚碑(るみんそうづかひ)と山門及び袖塀、本堂の側面、板碑覆堂などの煉瓦作りが多いことでも知られています。





右に出て北品川商店街を左に行くと直ぐに藤沢宿の兄弟松があります。そこを右に曲がり直ぐの横断歩道を渡って左に曲がり、またすぐ右に曲がります。そしてその先で「御殿山下台場跡」に出会います。

来た道に戻り、広い道に出る手前を右に曲がると「利田(かがた)神社」です。その横を右に進みます。左手に葎簀(よしず)に囲まれた小屋があり、品川浦の生活を紹介した看板、その横に何故かオムスピ型をした大きな石の「鯨塚」があります。鯨塚の横の階段を上った所に公園。鯨のオブジェの横を通り信号を渡った橋の下には品川浦船だまりがあり沢山の屋形船が泊っています。橋の左の信号を渡りそのまま直進、三度目の旧東海道に出ますので右に曲がります。向かった先の右手の角に最終目的地の「問答河岸跡」があります。

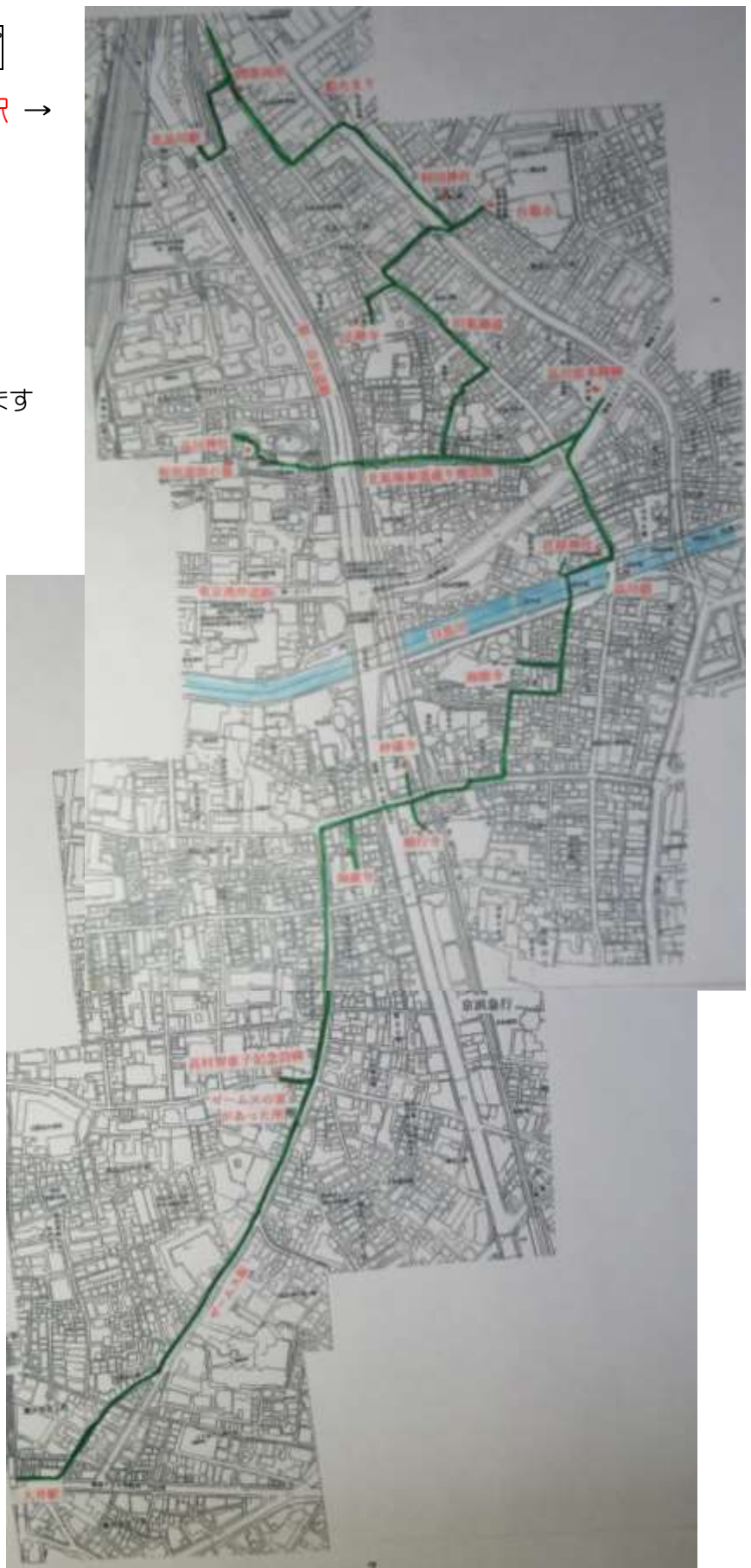
商店街で昼食をする方もいらっしゃると思いますので、少し戻った魚屋の所で解散とします。魚屋を右に曲がって踏切を渡り、右に曲がると京浜急行「北品川駅」に出ます。



大井町⇒北品川散策マップ

京急北品川駅 →

地図の下方より上に向かって歩きます



東急大井町駅 →